

様式3 実践事例

大崎町立大崎中学校 第3学年

【授業実践のポイント】

- ① 内容項目に迫るための中心発問の工夫
- ② 議論を広げたり，深めたりするための補助発問の工夫
- ③ 生徒が思考を深めるための活動の工夫

1 主題名

法やきまりの意義 [C—(10) 遵法精神・公德心]

(1) 教材名

二通の手紙 (出典 日本文教出版「中学道徳 あすを生きる3」)

(2) 本時のねらい

法やきまりは，みんなの権利や幸せを守るために，知恵を出し合い，厳格に定められたものであり，それらに従うことも思いやりある行為であることを自覚するとともに，立法者の視点を大切にしようとする態度を育てる。

2 授業の展開

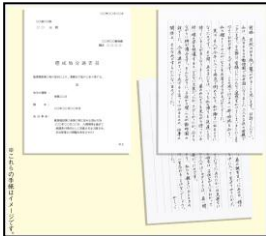
展開	学 習 活 動	主な発問と予想される生徒の反応	形態 時間(分)	指導上の留意点
導入	意識化 1 アンケート結果を確認し，本時の課題を知る。 2 学習のめあてを確認する。	○ アンケート結果についてどう思いますか。	一斉 3	● 事前のアンケート結果を提示し，自分たちの状況を把握させる。
	よりよい生き方を実現させていくためには，法やきまりは必要なのだろうか。			
展開	焦点化 3 資料内容を理解する。		一斉 2	● 資料「二通の手紙」は，事前にDVDで視聴させ，教科書を読ませておく。
	追究 4 第1次判断をする。 5 交流タイムで意見を聞き合う。	○ 1次判断をしましょう。 ○ なるほどと思った意見，及び反論や質問をしてみましょう。	個 3 班 7	● なるほどと思った意見，及び反論や質問を自由に聞き合わせる。
	自覚化 6 第2次判断をする。 7 交流して最終判断する。	○ 姉弟を入園させた元さんの行動に賛成ですか。反対ですか。それはなぜか？ ○ 交流タイムを通して新たに気付かされた意見も踏まえて，最終的に判断してください。	個 10 班個 18	● 前回の判断から，考えの広がり，深まりの変容に気付かせる。 ● 第2次判断から，考えの広がり，深まりの変容に気付かせる。
終末	意欲化 8 まとめを記入する。	○ 「法やきまりの意義」について，あなたの考えを書いてください。	一斉 3	● 個々の生徒の思い(根拠)の変遷が見られるとよい。
	9 リフレクションシートを記入する。	○ 今日の授業のリフレクションをロイロノートに記入してください。	一斉 4	● 授業の反省について記入させる。

もしあなたが元さんだったら、
姉弟を入園させますか？

〈論題〉
姉弟を入園させた元さんの行動に、賛成ですか。反対ですか。それはなぜか？

目標

よりよい生き方を実現させていくためには、法やきまりはなぜ必要なのでしょうか。


客観的に考えたうえで、もう一度元さんの立場に戻ることで生徒の最終判断にゆさぶりをかけるようにした。



補助発問について、まず個人で考える時間を十分に確保した上で、グループ交流で意見共有するようにした。



交流タイムで、多くの友達と意見共有をしながら、多面的・多角的に考えさせる。また、新たな視点からの補助発問を追加して提示することで、生徒がより深く考えられるようにした。さらに、全員発表をすることで、それぞれがどのような視点から判断したかを共有できるようにした。



一単位時間における意見やその根拠の変容が見取りやすいという観点から、ワークシートを作成した。

3 実践を終えて

(1) 成果

- ア 「思いやり」と「規則」という価値葛藤を設定することで、生徒の思考にゆさぶりをかけることができた。その結果、「ルールだから守る」という考えにとどまらず、なぜそのルールができたのかという背景について、生徒自身で考えることができた。
- イ どの生徒も根拠・理由を明確にしながら、説明することができていた。また、相手の意見にうなずきながら耳を傾ける様子が見られ、交流を通して自分の主張を変えた生徒も自分なりの新たな根拠をもって話すことができていた。
- ウ 意見や考え方の変化が見られ、多様な意見や自由な発想を基に、活発な議論が行われた。また、「どちらとも言えない」という立場の考えをもった生徒が、幅広い視点から意見を発表していた。

(2) 課題

- ア 意見に偏りがある場面では、少数派の方を論破しようとする様子が見られた。自分の意見を押し通すのではなく、自分にはない多様な視点を取り入れ、どの考えも尊重していくことの大切さを十分に理解させたい。
- イ 意見が変化した理由には着目したが、意見が変化しなかった理由には着目できなかった。今後は、意見が変化しなかった理由も考えさせることで、生徒が根拠を明確にもって、自分の考えをさらに深められるようにしたい。